

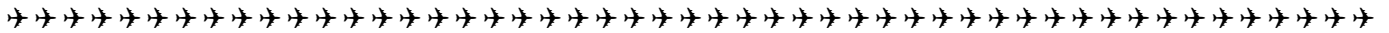
～ 女学館の国際交流活動のご紹介 ～

本校では Intercultural Education Center (ICEC:異文化相互理解教育センター)を中心に、

「国際的視野の育成」を目指した国際交流活動を行っております。

ここに女学館の国際交流プログラムの大きな3つをご紹介します。

6年間の女学館生活を考えていく上でご参考にいただければと思います。



国際交流プログラム1 海外文化研修

夏休みに2種類の海外文化研修を行っています

①アメリカ文化研修

訪問地：オレゴン州 セーラム、ポートランド

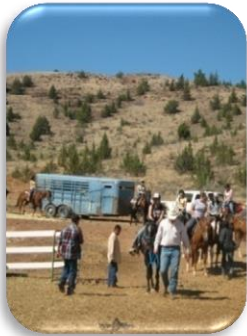
期間： 18日間 (例年、終業式の1～2日後に出発しています)

対象学年：高校1年生、2年生

参加定員： 30名程度



最初の14日間は、セーラムにある大学の寮に滞在し、現地の高校生メンターと生活を共にしながら、2週間の英語のレッスンを受けます。午前中は教室で授業を受け、午後は様々なアクティビティーを行います。町に出て英語でインタビュー、児童館で日本文化を教えるボランティア、大自然を満喫する遠足など、どれもとても楽しいものばかりです。2週間の中には、短期ホームステイや、2泊3日のセントラルオレゴンへの小旅行も含まれています。



研修の最後の3日間はポートランドで、将来について考える研修を受けます。働く女性の講演を聞き、その後 Job Shadowing を行います。この Job Shadowing は女学館独自のプログラムで、働く女性に密着し、職場で働く様子から家庭に戻って主婦として働く様子までを見学するというものです。この Job Shadowing での経験は、進路について考え、自らの職業観を育てるきっかけとなるものです。

様々な人たちとの交流を通して、英語力やコミュニケーション力を磨き、将来について考えることができる研修です。

②東南アジア研修

訪問地：マレーシア・クアラルンプール、タイ・バンコク

期間： 17日間 (例年、終業式の1～2日後に出発しています)

対象学年：中学3年生、高校1年生、2年生

参加定員： 10名

マレーシア・タイ両国にある姉妹校を訪問し、1週間ずつ学校に通いながらホームステイをするというプログラムです。これらの姉妹校とは、1997年に交流が始まって以来、相互訪問を行っています。地理的にも近く歴史的にも深い関わりがある両国で、同年代の人たちと交流することは、とても有意義で視野を拓けることにつながります。



両国では、市内や郊外の名所へ観光にも行きます。マレーシアではマラッカを訪問し、タイでは映画「戦場にかける橋」の舞台となったカンチャナブリを訪問します。毎日が新しい発見でいっぱいの17日間です。

